



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,717	10.4	129	41.8	132	41.0	79	62.3
2022年3月期第3四半期	4,273	11.8	222	24.6	225	27.7	211	66.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 100百万円 (54.1%) 2022年3月期第3四半期 218百万円 (82.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	31.90	31.16
2022年3月期第3四半期	84.57	83.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	3,112	891	27.3	339.09
2022年3月期	3,362	789	22.7	304.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 849百万円 2022年3月期 762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	9.9	81	70.2	92	64.6	50	70.9	19.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)、(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	2,605,642 株	2022年3月期	2,605,642 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	99,200 株	2022年3月期	99,200 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	2,506,442 株	2022年3月期3Q	2,505,969 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会社方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、正常化に向けての歩みが本格化する一方で、新型コロナウイルス感染者の増加スピードは一向に衰えず、依然として感染リスクを拭えぬ不安な状況が続いております。また、円安と原材料価格の高騰は収束する気配もなく、海外に遅れながらも物価の上昇が容赦なく進んでおり、景気回復の足かせとして看過できない状況になっております。海外においては、物価の上昇など景気の過熱を抑え込むべく各国の中央銀行による金利の引き上げ策が進められております。

リユース市場においては、循環型社会への転換気運の高まりに加え、物価の上昇で価格の比較において優位性がある中古品に対する需要が増加しており、市場も拡大傾向が続いております。また、円安を背景に海外輸出を目的とした買取りは、その競争に一層の熱を帯びてきております。

ゴルフ用品市場においては、ゴルフ人気を背景に需要は底堅く推移しているものの、あらゆる分野で物価が上昇するなか、ゴルフ用品の価格も上昇が進んでおり、今後はその許容範囲を探る展開が予想されます。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、2022年10月～12月の新品クラブ及びボールなど用品類販売の前年同月比は、カテゴリー合計において数量が10月 105.2%、11月 108.7%、12月 97.5%、金額が10月 105.5%、11月 127.6%、12月 93.2%となっております。カテゴリー別では新製品の発売によってウッドが好調で、数字上は原材料価格の高騰や為替レートの変動による値上げに起因する需要減退は見られず、金額ベースの底上げにつながっている面もあるようです。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2022年10月～12月（12月は速報値）の利用者数前年同月比は、ゴルフ場が10月 101.5%、11月 98.0%、12月 91.7%、練習場が10月 100.8%、11月 97.5%、12月 91.4%となりました。他レジャーとの競争が本格化してきたためか、人気の3密回避レジャーでも今までのように前年同月実績を上回り続けることが難しくなってきたようです。

このような経営環境のなか、当社グループではECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の機能及び利便性の向上を最優先に取り組んでまいりましたところ、夏場以降の業績が上昇傾向となり、「ゴルフドゥ！」店舗にとっても購入客数減少の填補ルートとなりました。また、2022年12月26日に「会計上の見積りの変更に関するお知らせ」を開示しておりますが、同サイトに関連するソフトウェア資産の耐用年数の短縮及び将来にわたる変更によるもので、減価償却費の前倒しとはなりませんが、「中期経営計画 Challenge2026」の最終目標（2026年3月期）となる「トリプル100+10」構想（売上高100億円、「ゴルフドゥ！」国内100店舗、株式時価総額100億円及び経常利益10億円）の達成を見据え、同サイトの成長スピードを加速させる必要があると判断し、稼働中の現システムを新システムに入れ替えるための措置となります。現在、当社独自のネット戦略の組み立てを進めており、2023年夏期にNEW「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の第1弾としてプレオープン、同年秋期に第2弾としてグランドオープンを予定しております。シミュレーションゴルフ併設店舗の「ゴルフドゥ！NEXT」については、4月のオープン以来想定を上回る業績で推移しておりますが、シミュレーションゴルフの活用方法については模索が続いており、延いては収益源がゴルフ用品の物販に偏る当社グループの状況改善にもつなげるべく取り組みを進めております。なお、当面の利益圧迫要因として光熱費と採用費の増加があげられますが、エネルギー価格の高騰によって光熱費は供給先の選択肢が狭まり、その結果として価格の見直し余地も無く、日増しにその負担が増しております。採用費については、「ゴルフドゥ！」直営店の出店が停滞する一因に人員不足があり、直近の人員不足解消に加えて将来的な業容拡大を見据え、引き続き積極的な採用活動を行ってまいります。

直営事業においては、「ゴルフドゥ！」直営店の従業員に新型コロナウイルスの感染者と濃厚接触者が相次いだため、人員調整に苦心する状況が続いておりますが、円安を背景とした海外業者の増加や、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」が好調なこともあり、日々の業績は一進一退を繰り返すものの、致命的な減少には至っておりません。なお、当第3四半期連結累計期間の同店売上高前年増減率は、全店ベースで4.2%増、既存店ベースで1.5%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店の買取りが順調なことから、秋のトップシーズンは好循環となったことに加え、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」経由での販売が好調を維持しております。しかしながら、店舗の購入客数は前年同月実績を下回る状況が続いており、天候不順などの外的要因はあるものの、店頭販売の勢いに鈍化の兆しが見え隠れしております。なお、当第3四半期連結累計期間の同店売上高前年増減率は、全店ベースで1.0%増、既存店ベースで3.1%減となりました。

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」のオープン新規が4店舗、移転が1店舗であり、2022年12月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ54店舗で合計78店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース2.4%増、既存店ベース1.1%減となりました。

営業販売事業においては、円安や米国内のインフレに伴うコストの上昇による米国輸入品の価格優位性の低下が進んでおり、国内メーカー品はもとより中古クラブの取扱いを増やして急場を凌ぐ一方で、ボールなどの用品類は受注改善の動きが見られ始めております。国内ECモールに出店する「GOLF J-WINGS」は、在庫状況が安定しないことから、前年増減率における月別の振れ幅の変動が大きくなっております。

アパレル事業においては、新型コロナウイルス感染者数の増加などにより客数の減少が続いておりますが、値下げ品を増やし、購入点数の増加による客単価の上昇で補っております。また、時勢柄から節電対策グッズの売れ行きが好調です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高47億17百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益1億29百万円（同41.8%減）、経常利益1億32百万円（同41.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円（同62.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は32億72百万円（前年同四半期売上高は31億17百万円）、セグメント利益は2億96百万円（前年同四半期セグメント利益は3億14百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は4億95百万円（前年同四半期売上高は3億58百万円）、セグメント利益は1億13百万円（前年同四半期セグメント利益は1億13百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は9億89百万円（前年同四半期売上高は8億22百万円）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期セグメント利益は22百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第3四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は40百万円（前年同四半期売上高は37百万円）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期セグメント利益は2百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円の減少となり、31億12百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億72百万円の減少となり、23億30百万円となりました。これは主に現金及び預金が71百万円、売掛金が1億75百万円、未収還付法人税等が31百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円の増加となり、7億81百万円となりました。これは主に有形固定資産が53百万円増加、長期貸付金が22百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億52百万円の減少となり、22億20百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億52百万円の減少となり、13億19百万円となりました。これは主に買掛金が2億78百万円、短期借入金が3億円減少、未払法人税等が54百万円、その他に含まれる未払消費税等が41百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億円の増加となり、9億円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億1百万円の増加となり、8億91百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は27.3%（前連結会計年度末は22.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日付で公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2023年2月13日）公表の「通期連結業績予想の修正及び会計上の見積りの変更に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	724,617	653,147
売掛金	421,932	246,824
商品	1,350,776	1,367,780
短期貸付金	9,561	6,893
未収還付法人税等	32,095	371
その他	65,276	57,043
貸倒引当金	△1,360	△1,360
流動資産合計	2,602,899	2,330,700
固定資産		
有形固定資産	216,257	269,420
無形固定資産	209,808	209,742
投資その他の資産		
投資有価証券	13,510	18,003
長期貸付金	57,757	34,939
敷金及び保証金	179,920	175,195
繰延税金資産	40,258	39,664
その他	43,875	36,732
貸倒引当金	△2,595	△2,595
投資その他の資産合計	332,725	301,939
固定資産合計	758,792	781,101
繰延資産		
社債発行費	652	343
繰延資産合計	652	343
資産合計	3,362,344	3,112,144
負債の部		
流動負債		
買掛金	519,379	241,013
短期借入金	800,560	500,062
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	179,024	211,759
未払法人税等	735	55,046
賞与引当金	39,699	15,968
ポイント引当金	33,313	40,741
株主優待引当金	10,857	7,226
資産除去債務	2,800	—
その他	165,842	228,136
流動負債合計	1,772,212	1,319,952
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	509,271	609,543
退職給付に係る負債	145,911	158,119
資産除去債務	80,379	86,984
その他	44,800	45,800
固定負債合計	800,362	900,446
負債合計	2,572,574	2,220,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	124,171	191,597
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	711,042	778,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,741	2,751
為替換算調整勘定	52,957	68,701
その他の包括利益累計額合計	51,215	71,452
新株予約権	27,511	41,823
純資産合計	789,769	891,745
負債純資産合計	3,362,344	3,112,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,273,585	4,717,949
売上原価	2,608,393	2,972,628
売上総利益	1,665,192	1,745,321
販売費及び一般管理費	1,443,025	1,615,947
営業利益	222,166	129,373
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,187	1,532
受取手数料	3,768	4,478
為替差益	1,592	1,430
助成金収入	3,447	3,869
その他	3,066	2,602
営業外収益合計	14,061	13,913
営業外費用		
支払利息	10,119	9,668
その他	826	688
営業外費用合計	10,946	10,357
経常利益	225,281	132,930
特別利益		
債務免除益	4,445	—
特別利益合計	4,445	—
特別損失		
固定資産除却損	4,170	1,838
特別損失合計	4,170	1,838
税金等調整前四半期純利益	225,556	131,092
法人税、住民税及び事業税	5,965	50,242
法人税等調整額	7,657	891
法人税等合計	13,623	51,134
四半期純利益	211,933	79,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,933	79,958

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	211,933	79,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	4,492
為替換算調整勘定	5,704	15,744
その他の包括利益合計	6,152	20,237
四半期包括利益	218,086	100,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,086	100,195
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会社方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数の変更）

当社は、当第3四半期連結会計期間において、ECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」のシステム入替を決定いたしました。これに伴い除却見込みとなる当社保有のECサイトに関連するソフトウェア資産の耐用年数を入替予定月までの期間に短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ26,266千円減少しております。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,117,099	349,459	769,132	37,894	4,273,585	—	4,273,585
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	8,683	53,084	—	61,767	△61,767	—
計	3,117,099	358,143	822,216	37,894	4,335,353	△61,767	4,273,585
セグメント利益	314,986	113,782	22,503	2,807	454,080	△231,913	222,166

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,272,205	485,854	919,716	40,172	4,717,949	—	4,717,949
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	9,592	69,815	—	79,407	△79,407	—
計	3,272,205	495,447	989,531	40,172	4,797,357	△79,407	4,717,949
セグメント利益	296,468	113,497	3,897	2,734	416,597	△287,223	129,373

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

売上高前年対比等

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2022年10月	2022年11月	2022年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
ゴルフドゥ！全店	104.9%	102.9%	96.4%	101.4%	102.4%
ゴルフドゥ！既存店	100.8%	98.9%	93.7%	97.8%	98.9%
同 直営店 全店	104.0%	102.1%	99.3%	101.8%	104.2%
同 直営店 既存店	101.6%	99.2%	96.3%	99.0%	101.5%
同 FC店 全店	105.6%	103.6%	94.1%	101.0%	101.0%
同 FC店 既存店	100.2%	98.7%	91.6%	96.8%	96.9%

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2022年10月	2022年11月	2022年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
売上高前年対比	152.3%	141.6%	125.3%	138.9%	136.2%
アクセス数前年対比	119.8%	147.8%	154.0%	140.1%	124.8%
会員数（合計）					385千人
会員数前年増加率					7.2%

(注) 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。